



# 消防だより

5月の広報テーマ  
「林野火災の防止」

「林野火災の防止」

# 119

## 林野火災を防ごう！

### 失

火による林野火災を未然に防ぐため、レクリエーションやドライブのために入山する方は、タバコの投げ捨てなどは絶対にしないなど、マナーの向上が不可欠です。また、林野周辺に居住している方や、業務により入山する機会が多い方は、火を使うときには、気象状況、

周辺の可燃物の状況に注意するとともに、特に強風注意報、乾燥注意報などが発令されている時は、思いがけない飛び火や急激な火勢の拡大となり、大火災になりかねませんので、火気の使用は避けてください。

周辺に可燃物の状況に注意するとともに、特に強風注意報、乾燥注意報などが発令されている時は、思いがけない飛び火や急激な火勢の拡大となり、大火災になりかねませんので、火気の使用は避けてください。

## 風水害に備えて

### 風

水害の代表的な例としては、洪水、高潮、土砂崩れなどが挙げられますが、ひとつの特徴として、地震災害などと異なり、前もって情報を得ることで、ある程度災害の発生を予測することが可能といえます。

しかし、近年では、予測が難しく局所的な突風を伴う竜巻による被害も発生しています。風水害の発生が予測される場合には、ご近所や老人宅などへ声を掛けて、特にご老人や子供とは一緒に行動を伴にして、町で指定している避難場所へ早めに避難するようにしましょう。



## ◆集中豪雨とは

量的な定義はありませんが、短時間に局地的に降る大雨のことを「集中豪雨」といいます。

集中豪雨は、活発な積乱雲によってもたらされ、主に日本付近に前線が停滞している時（梅雨期の終わりごろ）や台風が日本列島に接近しているか上陸した時、大気不安定な状態が続き、次々と雷雲が発生している時などに発生します。

また、地形によっては土石流・地滑り・がけ崩れなどの土砂災害、洪水などの被害がおきやすく



## 救

急や事故などで心肺機能停止になった人を救うには、救急車が到着するまでの間に、そばに居合わせた人（「バイスタンダー」といいます）が速やかに心肺蘇生の応急手当を行う必要があります。

バイスタンダーによる①「119番通報」と②「応急手当」、救急救命士による③「高度な救

なりますので、気象情報や町からの情報に注意しましょう。

な救命医療」をうまくつなげて命を助ける一連の流れを「救命のリレー」といい、そのうちのどれか一つが欠けても命を救うチャンスは少なくなります。

バイスタンダーは「救命のリレー」の4つの要素のうち、最初の「119番通報」と「応急手当」を担い、「救命のリレー」のファーストランナーとして重要な役割を果たします。

## 統一標語

「火は見てる  
あなたは離れる  
その時を」

# fire



3月の  
●火災件数 1件  
●救急件数 37件